

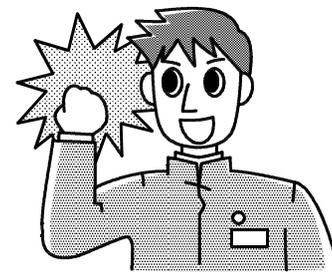
# レッツの春期講習会

*Take the lead, and you will win!*

(先んずれば人を制す!)

春期講習会では次の2点を最重点項目としてこれからの学習に備えます。

- ① 『新学年からの学習の基礎となるもの』
  - ② 『入試には必要だが、学校ではもう習う機会がないもの』
- ベテランの専任講師による「わかりやすさ」を追求した講義を通して、生徒のみなさんの内申点アップ・得点力アップを図ります。



## 期間：2024年3月23日～4月3日

《 講義数・受講費用(税込) 》  
中学生(新中1～3)

対象学年	新中学1年	新中学2年	新中学3年	備考
講習教科	国語・数学・社会・理科・英語			▶ 5教科必修です。 ▶ 北海道学力コンクールは全員参加です。 ▶ 春期講習料には受講料・テキスト代(2,500円)・学力コンクール受験料(4,500円)・消費税などが含まれています。そのほかには一切かかりません。
総講義数	60分×15講	60分×15講	60分×15講	
北海道学力コンクール	国語・数学・社会・理科・英語の5教科受験となります			
春期講習料	17,600円	18,700円	19,800円	
講習時間帯	5:00-7:05	7:10-9:15	7:10-9:15	
----- 1日1講または2講				

### 《 春期講習会受講手続き 》

- ① 電話予約をしてください。
  - ② 指定日に、当塾へお越しください。
    - ・申込書記入と費用納入。
    - ・テキスト等を配布し、予習説明を行います。
- \* 個人面談も受け付けます(要予約)。

### 第1回北海道学力コンクール

実施日：4月2日(火) 新中1・2  
4月3日(水) 新中3/新小4～6  
会場：当塾にて行います  
時間：12:50集合, 13:00試験開始

★ 北海道の多くの塾が参加する最大規模の模擬試験なので現在の実力を客観的に評価できる良い機会です。  
★ 道コンのみの受験(小学生3,500円/中学生4,500円)も可能です。

### 実績と信頼の進学塾

恵庭市島松仲町1-2-24 島松ハイヤー2F (JR島松駅前)



## レッツ進学ゼミナール

みんなに100点

# 0123-37-2100

<http://lets-shingaku.sakura.ne.jp/>



# 講習会後の入塾をご検討のみなさまへ

- ◆ 4月7日(日) 午前11時 入塾手続き(日時応談)
- ◆ 4月8日(月) 前期 | 平常授業開始(予定)

**特典①: 今年のレッツ卒業生の弟妹は入会金無料**

**特典②: 春期講習から継続する生徒は入会金半額**

## 2024(R6)年度 受講費用(税込み)

レッツ進学ゼミナールは、一人一人の個性と能力に見合った学習法を身につけさせるため、個別指導コースのみを開設します。

対象	コース	週1回 (月4回)	週2回 (月8回)	その他の コースも あります	自由回数
小学4~6年生		12,100円	20,900円	※詳細は お問い合わせ ください。	1回3,300円
中学1~3年生		14,300円	25,300円		1回4,400円
高校1~3年生		18,700円	34,100円		1回5,500円



- <備考>
- ① 初めての方は入会金(12,100円)を納めていただきます。  
なお、冬期間(11~3月)は暖房費が月1,100円加算されます。
  - ② 1回の授業時間は60分(小学生は50分)です。
  - ③ 指導を受ける曜日と時間帯は時間割を参考に担当の先生と相談して下さい。
  - ④ 毎回教科を変えて受講することもできます。
  - ⑤ 必要な教材は別途購入していただきます。
  - ⑥ 講習会や試験対策期間中は時間割が変更になります。
  - ⑦ 中学受験指導は別途ご相談下さい。
  - ⑧ 特別なニーズにもできるだけ対応しますので、別途ご相談下さい。

### レッツは1対1の完全個人指導です!

- ★ 上位の進学校を目指して、学校よりも高いレベルの指導を受けたい。
- ★ さまざまな教科を、望む回数だけ受けたい。
- ★ 前の学年の復習をしたい。
- ★ 一般の公立高ではなく、工業高等専門学校のような特殊な受験対策をしてほしい。
- ★ 1人で授業を受けたほうが集中できる。
- ★ 苦手な教科・分野だけを集中して受けたい。
- ★ 集団指導のクラスが苦手だ。

### 学びを取り巻く変化の波

- ◆ 2022年度から北海道公立高の入試制度が変わりました。どの教科も、「自分の考えを説明する」「仮説を立てて検証する」「複数の資料を読み取って説明する」など、内容をしっかり捉えることができなければ太刀打ちできない記述問題が増え、配点も非常に大きくなりました。そして、それらの正答率は低くなっています。このような出題は、「思考力・判断力・表現力」の育成を図る国の方針に基づいたものといえ、今後も増えるでしょう。したがって、今まで以上に「自分で考えて、それを適切に表現する力」が必要となってきます。  
ただ、その力は、様々な基礎力の組み合わせから成り立つもので、決して高度な内容が要求されているわけではありません。したがって、今後の学習の重点は、まず**基礎事項の徹底化**を図ること、その上で**表現の練習を積む**ことです。  
上位校や高倍率校では、これらの総合力で点差が付いてくると考えられます。同時に、わたしたちが以前から指摘している「**成績の二極化**」も進むでしょう。
- ◆ 今年の公立高受験者の動向を見ると、札幌圏の上位進学校の高倍率の傾向は変わりません。この地区では、北広島高校と千歳高校の普通科が1.1倍となり、千歳高校国際流通科が1.4倍と高倍率となっています。  
だからこそ、①**基礎を確実にし**、②**それに基づいた思考力・判断力・表現力を養成**することが確実な合格への道となります。  
高校入試や大学入試、さらには内申点の基となる学校の定期テストでも、ますますその傾向が顕著となるでしょう。

**「やればできます! 必ずできます!」**

